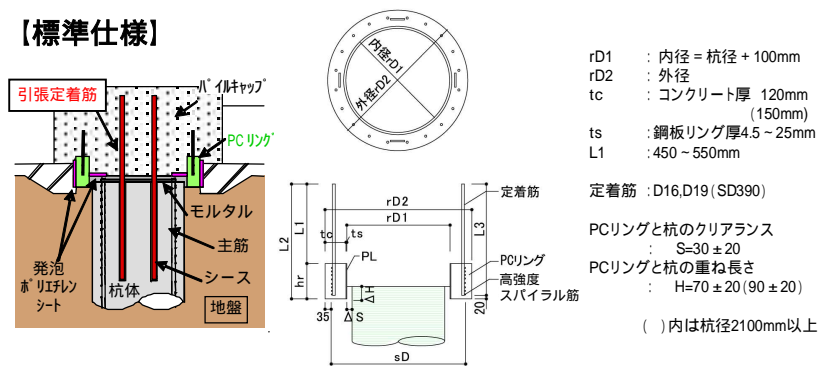
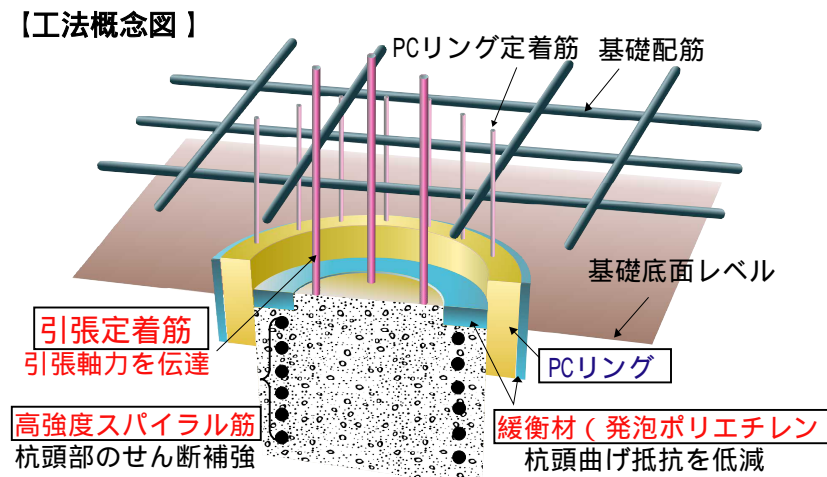


20175

場所打ち杭用杭頭半固定工法の開発 その1 開発背景と工法概要

正会員 吉松敏行 (鹿島建設) 同 伊勢本昇昭 (戸田建設)
 同 西村憲義 (三井住友建設) 同 山浦一郎 (五洋建設)
 同 許斐光生 (高周波熱錬) 同 魚住正志 (長谷工コーポレーション)

【はじめに】
 本工法は、プレキャストコンクリートリングを杭頭にかぶせ、杭頭中央に引張定着筋を配筋した杭頭半固定接合法である。杭頭の固定度を緩和するので、杭頭の地震時損傷を低減できる。地震時に生じる杭頭部引張力にも抵抗できる。杭頭接合断面縮小による効率的な半固定化を実現させた、場所打ち杭用杭頭半固定工法である。



【適用範囲】
 杭種は場所打ちコンクリート杭 (鋼管巻きも含む)
 杭径は800 ~ 3000mm
 杭体のコンクリート設計基準強度 F_c 21N/mm²

